

行事食における「食前酒」の提供

— 入院中の食事の快適性を向上させるために —



栄養科課長・管理栄養士
三日市わか子

当科では、患者さんの健康回復を促進するために病院食の質とサービスの向上に取り組んでおります。その一環として、平成17年度から季節にちなんだ行事食の中に「食前酒」を取り入れております。

「食前酒」をメニューに追加することによって、行事食をより家庭的で和やかな雰囲気ですまさせていただくとともに、少量のアルコールによる食欲増進や安眠効果、さらには精神的なリラックスや癒しの効果を期待いたしました。

平成20年度は、6月のさっぽろ祭り（梅酒）、9月のお月見（梅酒）、12月のクリスマス（赤ワイン）、3月のひな祭り（フルーツワイン）と年4回提供しております。提供する量はお猪口に軽く一杯程度（30cc）で、器は「ガラスのぐい飲み」を使用しています。

患者さんの年齢、病態、信条等によって飲酒を勧められない場合もあるため、適応する病棟、食種を判断し、主治医や病棟看護師の了解が得られ、ご本人が希望される方を対象としています。

患者さんからは、「食欲が出て気分が安らぐ」「病気がぱっとなくなる感じ」「寝る前に飲んでもよいで



6月 おまつり献立 食前酒つきメニュー

赤飯、盛り合わせ（幽庵焼き、鶏の照焼き、人参グラッセ、こんにゃく田楽、卵焼き）、かぶと桜えびの和え物、清汁、果物、梅酒

すか」「今後も続けて下さい」等多数のご意見や、喜びの声が聞かれ、感謝のメッセージも多数いただいております。さらに一部の病棟では歓声が沸き行事食を楽しまれた様子が見受けられました。

大規模な病院での食前酒の実施は例が少なく、今後も患者さんの視点に立ち、喜ばれる病院食をめざし、患者サービスの向上につとめてまいりたいと思います。

編集後記



市立札幌病院 地域連携センターが開設され1年を迎えました。この度、ようやく広報誌「かざぐるま第1号」を発行することができ職員一同大変うれしく思っております。

この連携だよりは当院からの情報発信だけでなく、連携施設からの情報提供も歓迎いたします。

パートナーシップをモットーに、地域完結型医療体制の実現と充実をめざし、しなやかに、そして、力強く札幌の地に根ざしていきたくと考えております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

編集・発行 市立札幌病院 地域連携センター運営委員会
（事務局：札幌市病院局 地域連携センター）
〒060-8604 札幌市中央区北11条西13丁目
電話 代表 (011) 726-2211 FAX (011) 726-7928



さっぽろ市
21-3-86
03-T01-09-383